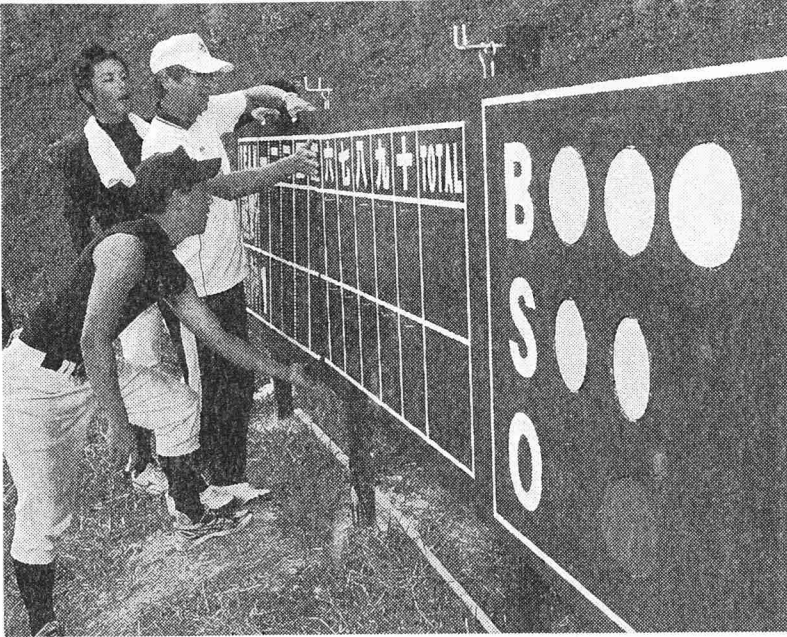


# 龍神分校野球部

# スコアボードを手作り

## ホームグラウンドに設置



龍神分校野球部の顧問らが手作りで設置したスコアボード  
(田辺市龍神村柳瀬で)

南部高校龍神分校(田辺市龍神村安井)の硬式野球部(部員12人)がホームグラウンドにしている市営多目的グラウンド「グリーングラウンド」(龍神村柳瀬)に、スコアボードが設置された。顧問の教諭らが、ホームセンターで買った木材を加工するなどして手作りしたもので、部員たちは「練習の励みにしたい」と喜んでいる。

スコアボードは、顧問の伊藤と伊藤教諭が製作を決意し、藤嘉彦教諭が中心になって製作に取り組んだ。伊藤教諭によると、このグラウンドで試合を行う場合、これまでは黒板のような小さなスコアボードを使っていたが、観戦に来てくれた人に得点分かりづらかったことなどから、同校がグラウンドを管理する市にスコアボードの設置を要望していた。しかし、100万円ほどの費用が掛かることから実現が難しく、それならば

仕掛けも作った。バックネット裏の斜面にコンクリートで固定した高さ1・5メートルに設置。材料費は5万円ほどで、野球部の予算で賅ったという。山本心主将(2年)は「すごくきれいなスコアボードができてうれしい。得点が見やすくなった。充実した試合ができるように頑張りたい」と話した。伊藤教諭は「こんな立派なスコアボードができたのは松井さんのおかげ。野球部以外の生徒も色塗りなどに協力してくれた。選手たちには、いろんな人から支えられているということを心に刻み、大事に使ってほしい。スコアボードは野球部に限らず、地域の野球愛好者の方にも使ってもらいたい」と話している。スコアボードは、このほど行われた和歌山西高校との練習試合で初めて使用し、5-1で同分校が勝利した。

練習試合で初めて使用し、5-1で同分校が勝利した。